

# パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2019年8月1日 191号  
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

# アスンシオン *Asunción*



市場に並べられた野菜と果物と調味料。



イスマエルさんと左藤トシ子さん(中央)が到着。7月4日



3名の鮮文大生たちが3か月の水産研究を終えて出発。6月12日



眞の万物の日を祝して。6月3日



エビの世話を引き継いだ水田君。6月17日



小橋氏、江頭君、水落氏が到着。6月5日



左より、水田君、土弘君、瀬戸本君。6月3日



さっそく木工作業をする水落氏。6月6日



江頭君の到着を歓迎して。6月5日



タロイモ田で作業する大山氏(白)と従業員たち。6月29日



パクー養殖池の浚渫作業。7月2日

# ★イエスズメ

Passer domesticus

日本のスズメより体がやや大きいイエスズメ。家屋、倉庫、畜舎などに好んで住む。「棲む」と言うより、勝手に人間の住居に住む。



①イエスズメのメス。嘴から出血。

しばらく軒下で休んでいたが、やがて元気子うに飛んで行つた。

野鳥が人家の天井裏や軒下に住む場合に、人にとって迷惑なのは、その糞尿である。子供の頃聞いた話では、昔々、神様はスズメに人と同じ家に住み、同じ米を食べることを許されたとか。しかし神様がスズメに人と同じトイレを使うようにと言い忘れたらしい。

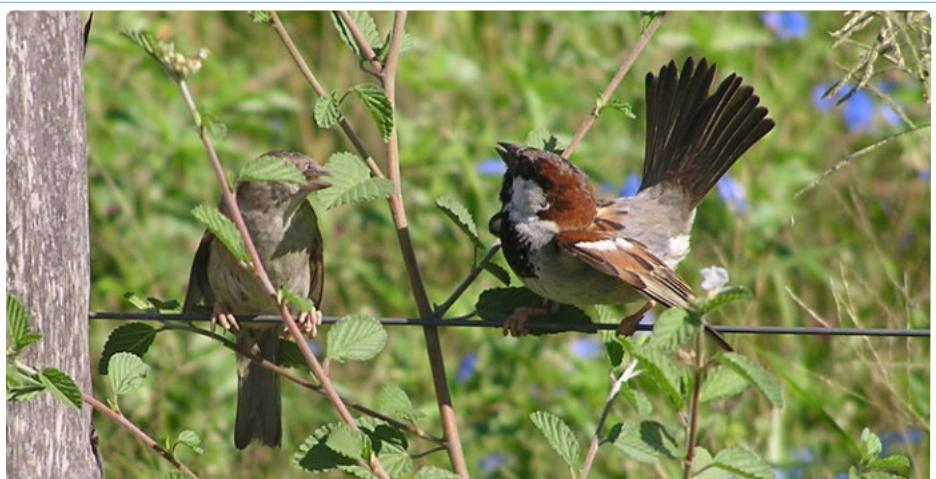
大いに悩まされた。発電室を格好のねぐらとしたのである。そこは天敵が来ない、屋根と壁がある、夜でも暖かい、通風のための隙間がある。日が暮れる頃、次から次へと「帰宅」し、夜を過ごす。そして貴重な発電機の上に、遠慮なく排泄物を落とす。これは速やかに除去しないと、制御回路を腐食させかねない。また鳥インフルエンザで知られるように、どんなウイルスを媒介されるか分からぬ。そこで糞尿対策だが、日本ではツバメの单



②侵入しようとしたオス（左下）を攻撃するメス。右は初めにいたオス

ごく小さな隙間からも出入りできるのだ。そして翌日、小さな隙間をしらみつぶしに探してふさぐ。これを執拗に繰り返せば、やがてスズメたちは出入りできなくなる。つまり根気勝負である。他に、屋内に入つたスズメの群れに雑巾などを投げつけて追い出すという手も、一時的だが効果がある。

イエスズメの装いは、パンタナールの他の小鳥たちと比べると、かなり地味な印象を受ける。また、



③イエスズメの求愛。元のオス（右）が歌とダンスでメスに求愛する。

類は一般に、メスをめぐつてオスとオスとが闘うものである。この日見た光景は、イエスズメとしては普通のことなのか、あるいは例外的なのか？もつと観察したいところだが、日中は他の野鳥たちの数が圧倒し、イエスズメの姿はほとんど見えない。イエスズメをしつかり見ることができるのは夜間、みんな仲良く休んでいる時だけである。

の下には、受け板を取り付ける。しかし、レダあたりでツバメが営巣することはまずない。レダはツバメたちにとつて、遠距離旅行の宿場なのである。

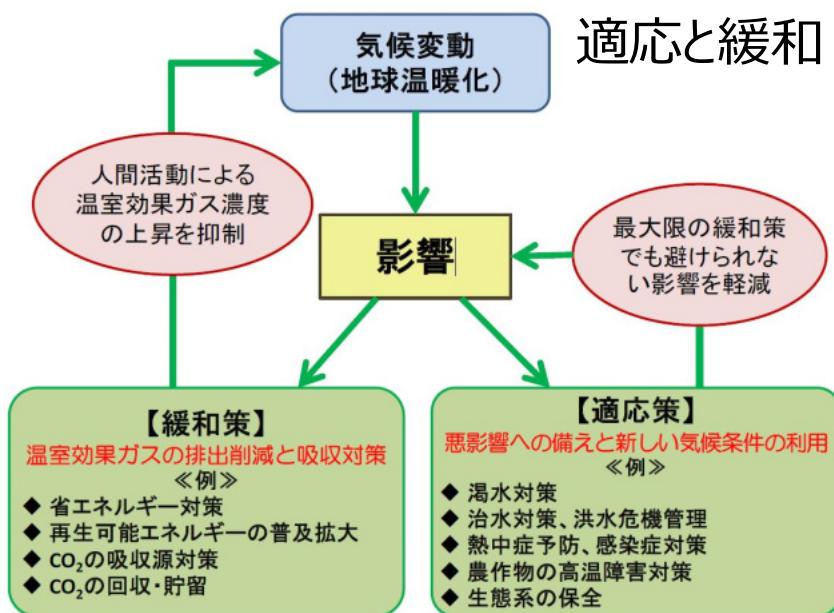
オスとメスとで少し風合いがことなる。オスは灰褐色の帽子を冠り、体にはメスよりもくつきりした模様と濃い彩色がある。オス、メスとも、鳴き声は「チユン、チユン」で日本のスズメと同じ。

# 第一回環境問題研究会セミナーを開催

六月十五日（土）午後一時半より、大山街道ふるさと館イベントホールにおいて、当法人の主催で第二十五回環境問題研究会セミナーを開催しました。テーマは「地球温暖化による気象・気候のリスク」、講師は気象学の専門家で（一財）気象業務支援センター気球環境・気候研究推進室長を務める鬼頭昭雄（きとうあきお）先生、参加者は二十三名でした。鬼頭先生が本セミナーで講師を務められるのは、今回が三度目。会員諸氏の熱い要望によつて実現しました。講義は前二回と同様、豊富な図表を駆使したハイレベルな内容で、参加者たちは終始真剣な眼差しで聴き入つていました。

講義は、パリ協定（COP21で採択）と、IPCCの評価報告書の解説から始まりました。二〇三〇年までに世界の平均気温が一・五度C上昇すると仮

## 適応と緩和



文部科学省 気象庁 環境省 気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート『日本の気候変動とその影響』2012年度版より

ジカメを携え、花や苔や虫などを見つめてみませんか。

高層湿原

検索

今年の夏休みは「高層湿原」のある山へ！

高層湿原には、貴重な動植物が生息・生育することが多く、世界自然遺産の釧路湿原、歌にもなった尾瀬ヶ原などが有名ですね。大自然の奇跡である日本列島には、大小の美しい高層湿原（日光）ほか。この夏はルートとデータを育む教材としてお奨めします。

大阿原湿原

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15  
岩崎ビル4F

電話：044-829-2821  
FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール：office@asd-nsa.com

ホームページ：<https://asd-nsa.com>

Facebook：<https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

定した場合の地球全体への影響の予測と、同二度C上昇の場合の極めて深刻な予測を示した上で「一・五度Cに抑制することは不可能ではない。しかし社会のあらゆる側面において前例のない移行が必要である」など、緊迫感に満ちた内容が多くありました。続いて、方法論報告書、土地関係特別報告書、地球温暖化の地域・季節差、暑さ指数と熱中症、異常気象はなぜ起るのか？、温室効果、地球のエネルギー収支、猛暑日の変化、短時間強雨の変化、豪雪と、カーボンバジエット、適応と緩和の両面策、防災・減災などの内容を順次解説されました。講義に続いて、活発な質疑応答がなされ、最後に全体会で記念写真を撮影し、午後四時半、和やかに解散しました。詳細な講義内容については、環境問題研究会によるレポートをお待ちください。



## 会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

◆法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

◆入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

## お便り募集



ルリタテハの手乗り

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局：[office@asd-nsa.com](mailto:office@asd-nsa.com)へお願いします。